

ギャンブル等依存症 実態把握について（案）

対象	国（予定）	道（予定）
個人	○久里浜医療センター (H29 アンケート調査：SOGS)	
医療機関 (361カ所)		○医療機関における対応状況調査 (受診者数、期間、課題等)
相談機関 (606カ所)		○地域包括支援センターに対する調査 ○障がい者の相談機関に対する調査 ○生活困窮者相談窓口に対する調査 ○福祉事務所(生活相談)に対する調査 ○女性相談援助センターに対する調査 ○いのちの電話相談に対する調査 ○道立消費生活センターに対する調査 ○臨床心理士会に対する調査 (相談対応件数等) ○法テラス、司法書士会に対する調査 (債務相談件数等)
その他	○多重債務、貧困、虐待、自殺、犯罪等のギャンブル等依存症問題の実態把握（H32：厚労省） ○ギャンブル等の消費行動等の実態把握（H33まで：消費者庁） ○公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンターへの相談データの分析による実態把握（多重債務・貧困・犯罪等）（農水省、経産省） ○ギャンブル依存症予防回復支援センターへの相談データの分析による実態把握（H31公表、H33までに多重債務・貧困・犯罪等の相談内容等の分析開始）（国交省） ○リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）の相談データの分析等によるパチンコへの依存問題の実態把握 ・パチンコ業界は、RSNの協力を得て、相談者情報の集計・分析、環境等の実態把握・公表 ・パチンコ等を原因とした犯罪に係る調査の実施検討（警察庁） ○子ども虐待による死亡事例等におけるギャンブル等依存症の影響等の把握（H31以降：厚労省） ○ギャンブル等依存症問題を有する受刑者の実態把握（H31：法務省）	○当事者団体等（GA、ギャマノン）

（参 考）

○ギャンブル等依存症対策の現状（国の基本計画より）

(1) ギャンブル等依存の状況

・ギャンブル等依存が疑われる者の割合（過去1年以内の経験の評価）：成人の0.8%

(2) その他のギャンブル等依存問題の状況

①H28年度相談件数：3,837件（精保センター：2,689件、保健所：1,148件）

②H29年度 PIO-NET（全国消費生活情報ネットワークシステム）相談件数：535件

③H29 財務局等に対する相談件数：828件

④H29 刑法犯の検挙件数（動機がギャンブルへの欲求）：2,570件

⑤H29 保護観察対象者のうち、「ギャンブル等依存対象者」累計認定者数：1,296名